

# どうして？ななに？の本

— 図書館がすすめる4～6歳の科学よみもの —



	<p><b>あしたのてんきははれ？くもり？あめ？</b>          野坂勇作／作 根本順吉／監修 福音館書店 <b>451</b></p> <p>明日の天気は何だろう？「夕焼けは晴れ」「おひさまが傘をかぶると曇り」など、昔から言われている天気に関することわざを解説している。幼い子どもにも分かる天気予報の本。</p>
	<p><b>おいしい野草</b>          丸山尚敏／文 高森登志夫／絵 福音館書店 <b>471</b></p> <p>食べられる野草にはどんなものがあるのだろうか。食べごろの姿と、成長した姿が写実的な絵で紹介されている。巻末の解説には、それぞれの「生育地」、「採り方と料理法」も載っている。</p>
	<p><b>おちばのしたをのぞいてみたら…</b>          皆越ようせい／写真と文 ポプラ社 <b>486</b></p> <p>落ち葉の下には、生きものがいっぱい住んでいる。ミミズなどの生きものの他にも、もこもこしたアカケダニ、背中に毛が生えているアヤトビムシなど。面白い生きものに興味がわく写真絵本。</p>
	<p><b>およぐ</b>          なかのひろたか／作 福音館書店 <b>785</b></p> <p>泳ぐのは苦手？ 動物も人間も、体の中の肺が浮き袋の役割をしてくれているから、水に浮きやすい。苦手でも、プールに入って顔を水につけるところから初めてみよう。</p>
	<p><b>カユイカユイ たぬきせんせいのびょうきのほん</b>          毛利子来／文 なかのひろたか／絵 福音館書店 <b>493</b></p> <p>体がカユイカユイになったことはある？ かゆくなる原因は、シンマシンやアトピーやミズボウソウなど、いろいろある。どうしてかゆくなるのか、原因とその対処法を紹介する。</p>
	<p><b>恐竜のなぞ</b>          アリキ・ブランデンバーグ／文・絵 神鳥統夫／訳 小島郁生／監修          リブリオ出版 <b>457</b></p> <p>今はもういない恐竜のことがどうして分かるんだろう？ そんな子どもの疑問に、化石の発見や恐竜研究によって分かってきたことを紹介する。</p>
	<p><b>くさる</b>          なかのひろたか／作 福音館書店 <b>613.5</b></p> <p>食べものをそのままにしておくと、くさる。くさったゴミを土に埋めると、小さな虫が食べて、最後に土になる。自然の循環を分かりやすく説明してくれる。</p>

	<p><b>くちばし どれが一番りっぱ?</b>        ビアンキ/文 藪内正幸/絵 田中友子/訳 福音館書店 488.1</p> <p>鳥には、いろいろなくちばしがある。シメは大きくてがんじょうなくちばし。タシギはまっすぐで長いくちばし。どうしてこんなに違うのか、鳥たちのおしゃべりを聞いてみよう。</p>
	<p><b>こいぬがうまれるよ</b>        ジョアンナ・コール/文 ジェローム・ウェクスラー/写真        つぼいいくみ/訳 福音館書店 489.5</p> <p>生まれたての子犬の赤ちゃん。生まれたばかりの時は、まぶたがくっついていて目が見えないし、耳も聞こえない。母さん犬のおっぱいの他は何も食べられない。子犬の成長を追った写真絵本。</p>
	<p><b>こっぴ</b>        谷川俊太郎/文 今村昌昭/写真 福音館書店 E903.6イ</p> <p>コップは水をつかまえる。水だけじゃなくて煙やハエもつかまえるし、時には犯人だってつかまえる！ 一つのコップから世界が広がる写真絵本。</p>
	<p><b>しっぽのはたらき</b>        川田健/文 藪内正幸/絵 今泉吉典/監修 福音館書店 481.3</p> <p>しっぽには、いろいろな働きがある。物をつかめるしっぽ、自分の気持ちを表わすしっぽ、走る時にバランスを取るしっぽもある。しっぽの形とその働きについて、詳細な絵で紹介している。</p>
	<p><b>地面の下のいきもの</b>        大野正男/文 松岡達英/絵 福音館書店 481</p> <p>地面の下で生活している生きものたちの世界を、ほぼ実際の大きさを描いている。同じ土の下でも、木の根っこ近くで生活するもの、水辺で暮らすものなど、興味深い断面図が展開する。</p>
	<p><b>しんぶんしでつくろう</b> よしだきみまる/作 福音館書店 754</p> <p>新聞紙を使って遊ぼう。新聞紙のすみっこを四人で持ってひっぱりっこ。はさみを使って切りぬいたら、大きなちょうちょ。最後は、みんなでおかたづけ。おかたづけの後に出来たのは…。</p>
	<p><b>スプーンぼしとおっぱいぼし</b>        八板康磨/写真と文 杉浦範茂/絵と構成 福音館書店 443</p> <p>春の夜空を見上げてみよう。北の空にスプーンの形をした北斗七星と、おっぱいの形をしたカシオペア座を見つけることができるかな。</p>
	<p><b>だれだかわかるかい? むしのかお</b>        今森光彦/文・写真 福音館書店 486</p> <p>カブトムシやセミ、モンシロチョウなど、身近な昆虫の顔のクローズアップ写真絵本。迫力ある写真をじっくり見ると、昆虫の顔の中に新しい発見ができる。</p>

	<p><b>たんぽぽ</b>  平山和子／文・絵 北村四郎／監修 福音館書店 479.9</p> <p>身近な植物のたんぽぽの生態について、その不思議やたくましさを写実的な絵で描いている。実物大に描かれた根っこの絵は見ごたえがある。</p>
	<p><b>どうぶつえんガイド よんでたのしい! いったのしい!</b>  あべ弘士／作・絵 なかのまさたか／デザイン 福音館書店 480.3</p> <p>ラクダのこぶのなかみはなに? クジャクの羽は目玉もよう。どんなときに羽を広げるの? 動物園の人気者たちの秘密が分かりやすく書いてある。</p>
	<p><b>はははのはなし</b>  加古里子／文・絵 福音館書店 497</p> <p>虫歯になると、歯が痛む。どうして虫歯になるのだろうか? 虫歯の防ぎ方や丈夫な歯の作り方、丈夫な歯と健康な体の関係など、幼い子にも分かりやすく解説されている。</p>
	<p><b>ひかっごろごろ</b>  フランクリン・M.ブランリー／文 エド・エンバリー／絵 山田大介／訳 福音館書店 451</p> <p>空に大きな雲ができていく。雲はどんどん大きく高くなり、電気でいっぱいになるとやがて雷が鳴る。雷の成り立ちを紹介する。</p>
	<p><b>ふゆめがっしょうだん</b>  長新太／文 富成忠夫、茂木透／写真 福音館書店 471</p> <p>木の芽の冬姿を拡大して写真に撮っている。落葉した跡が顔に見える、ウサギやコアラ、帽子をかぶった子どもなど、さまざまなイメージが膨らむ。</p>
	<p><b>ほく、だんごむし</b>  得田之久／文 たかはしきよし／絵 福音館書店 485.3</p> <p>子どもたちに人気があるダンゴムシ。「ムシ」と名前がついているが、昆虫ではなくてカニやエビと同じ甲殻類。固い外皮を育てるために、ときどきコンクリートを食べる。ダンゴムシの生態を詳しく紹介している。</p>
	<p><b>ほね</b>  堀内誠一／作 福音館書店 491.3</p> <p>人間の体の中には骨がある。骨がなかったら、ぐにゃぐにゃになって、立ってなんかいられない。骨の働きと役目、その構造を描いている絵本。</p>

	<p><b>みず</b></p> <p>長谷川摂子／文 英伸三／写真 福音館書店 452</p> <p>雨上がりの庭でしずくが輝くクモの巣を見つけた。プールにもぐろう。川に流れる力強い水と遊ぼう。さまざまな水とたわむれて遊ぶ子どもたちの姿をとらえている写真絵本。</p>
	<p><b>みてみよう</b> こんちゅうのからだ</p> <p>得田之久／作 福音館書店 486</p> <p>昆虫の足、触角、目の特徴など、さまざまな昆虫のいろいろな部分を比較しながら紹介している。カブトムシとナナホシテントウの口、カマキリとアメンボの足など、比べることによって、その昆虫の特徴が良く分かる。</p>
	<p><b>みんなうんち</b></p> <p>五味太郎／作 福音館書店 481.3</p> <p>大きいゾウは大きいうんち、小さいネズミは小さいうんちをする。生きものは食べるから、みんなうんちをする。それぞれの動物と人間の男の子も、うんちをする様子をユーモラスに描く。</p>
	<p><b>虫のかくれんぼ</b></p> <p>海野和男／作 福音館書店 486</p> <p>昆虫は天敵から身を隠すために進化をしてきた。木の幹と同化するキノハダカマキリや、花にそっくりのハナカマキリなど、自然に溶け込む姿に驚かされる。</p>
	<p><b>やさいでぺったん</b></p> <p>よしだきみまる／作 福音館書店 736</p> <p>野菜のきれはしに絵の具をつけたら、ぺったん、ぺったん、野菜のスタンプができた。玉ねぎ、じゃがいも、にんじん、いろんな形。ぺったんしたら、どんな絵ができるかな。</p>
	<p><b>やぶかのはなし</b></p> <p>栗原毅／文 長新太／絵 福音館書店 486.9</p> <p>嫌われものの蚊だけれど、血を吸うのはメスの蚊だけ。いい卵を産むために血を吸うのだ。メスの蚊が無事に卵を産むまでを追っている科学絵本。</p>
	<p><b>よもぎだんご</b></p> <p>さとうわきこ／作 福音館書店 596</p> <p>絵本で人気のばばあちゃんが、子どもたちと野原に草を摘みに行く。よもぎやなすな、つくしやせりなどの野草で作った春の香りの料理は、ばばあちゃんのバースデーパーティのごちそうに。よもぎだんごの作り方が詳しく紹介されている。</p>